事業番号 00265

事務事業名	児童扶養手当給付事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美			

	于切于木VM	光 女													
(1)		平成14年度		改		童扶養手当	と公的年金	金給付等	等との併給制	限の見直し					
(2)	直近の改正	平成26年度			容			-							
(3)	根拠法令等	児童扶養手当	当法 ————												
		□ 全部		一部(上	乗せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたキ	場合はそ(の説明	。 治明 									
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健康		て暮ら	せるまちづく	IJ		節	1	細節	33			
		· ·			区分	□内部	管理	□ 建	設事業	☑ その他	-				
>		対象 (誰を、何を)			範囲等	団等 ひとり親家庭の父・母、及び養育者									
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	児童扶	扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭の生活の安定と自立の促進に寄与する。									
		結果 (どのような効果	果が得られ	しるのか)	ひとり新	現家庭の福祉	止の増進								
(7)		に手当を支給	合する。 目42, 3 f得に応し	30円(所 じて減額)	得に応 に変更	じて減額)、2 予定。	2人目5,(000円、	3人目以降3	定める程度の障がし 3,000円。8月分か					
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	2	大事業 1	中事業 1	小事業 1			
		·	項目	' 		-		6年度 年度)	i	平成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)			
						予算(千円)	決争	算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)			
		事業費(A)					1,261,289		1,193,011	1,202,232	1,183,342	1,226,115			
		人件費	職員	職員数		1.50				1.50	1.50	2.00			
			頁(B)	千円					12,528	12,528					
	事業費と		事業費(1,273,739		1,204,932		1,195,870	<u> </u>			
(9)	財源の内訳		特定財源	ま(し) 国			420,429 420,429		397,772		393,000 393,000	•			
		内 		<u>=</u> 苻			0		0	0	0	0			
		一一一	そ0	 の他			0		0	0	0	0			
			市負担	(D)			853,310	807,160		814,017	802,870	833,751			
			<u>地</u> フ	方債			0	0		0	0	0			
		内 訳 		の他 			0		0		0	0			
		<u> </u>		財源			853,310		807,160		802,870				
			け源計(C ━━━━━ 実実施	<u>;+D)</u>			1,273,739		1,204,932	1,214,760	1,195,870	1,242,455			
							1								
		_ x=	· . 1	カエン		委託先	2								
	宇振士法	□ □ 委託	E又は一部	邹 委託			3								
(10)	実施方法					主な委託内容									
	(該当するもの							I							
	は全部チェック)	_	_				1								
	は全部チェック)	□ 補助	∫金∙負担	<u>1</u> 金		交付先	2								
	は全部チェック)	口 補助]金•負担	<u>3</u> 金		交付先									

			指標項目	1		項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			支給件数(延べ件	-数)	目標値	(単位∶件	-)		32,765.00	31,641.00	31,282.00
		指標 内容			実績値	(単位∶件	-)		31,309.00	31,026.00	
	1					達成度(%)		95.6		98.1	
<u> </u>		目標値	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位	な:千円)		38.49	38.54	
1 		の積算 方法			りコスト				25.78	25.88	
活動指標			支給金額		目標値	(単位∶千F	円)	1,261,289.00 1,193,011.00		1,202,232.00	1,226,115.00
標		指標 内容			実績値	(単位:千F	円)			1,183,342.00	
	2					達成度(%)			94.6	98.4	
		目標値 の積算	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位	な:千円)		1.01	1.01	
		方法			りコスト	一般財源(単位	な:千円)		0.68	0.68	
					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:) 達成度(%)		0.00		0.00	
	1								0.0	0.0	
$\widehat{}$		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位	江:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	1		0.00	0.00	
	2					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た			0.00		0.00	
		方法			りコスト				0.00	0.00	
の の が 困指	1	活動 内容						目標			
型難な場合 の乗な場合	2	成果 内容		の児童を監護・養育し [。] 章がいがある場合を含		達成 状況	ひとり親家庭等の生活の安定と児童の福祉の 進を図ることができた。				
		ي ا	ラ後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	i –	縮小			発止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	児童扶養手当法に 育費について助言・							接を行ったり、養

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00265	事業名	児童扶養手当給付事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> 5の想点		※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※冬設門5点選点				
言 平 1位	の視点	評価点					
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 				
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点		
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。				
(1)	妥当性 (20点)	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点		
	(20無)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 				
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点		
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点		
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 				
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点		
			②事業の目的と受益者が一致していますか。 				
(2)	有効性	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点		
	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点		
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。				
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
			①単位当たりコストは適正ですか。				
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。				
(3)	効率性	18	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
(0)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。				
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点		
					④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点		
			①サービスの対象範囲は適正ですか。				
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
			②サービスの水準は適正ですか。				
(4)	公平性	16	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点		
(4)	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。				
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点		
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。				
			b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3	点		
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。				
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。				
(E)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点		
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点		
		92	← ※自動計算します。				
(100	点満点)	JZ	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00265	
2 各視点	いらの評価の点数では表れ	いない事項(必要に	応じて記載)	

3 事務事業の現状分析

	T	T	1
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続可能性	妥当性 20 15 10 5 0 公平性 効率性	
(3)現状分析	目的としており、上位施策である配慮また、近年遡って資格を喪失するケーある。遡っての喪失とならないように、	ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、児 を必要とする家庭への支援に結びついる スがあるが、過誤払金が大変大きな金額 現況届提出時に丁寧な聞き取りを行い。 には早急に返還していただけるように、「	ている。 額になり、返金不可能な場合が 、年金受給や住民票の変更を

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成28年8月分から第2子加算5000→10000円、第3子加算3000→6000円へ増額の予定。

事務事業名	児童手当給付事業								
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美				

•	1 101 1 5 1 6																
(1)	事業開始年度	昭和46年度			改正・旧音手光はの一部出て												
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	児重	賃手当法の一部	邻 改止									
(3)	根拠法令等	児童手当法															
		□ 全部		一部(上乗せ	、横	出し等あり)		V	なし	(国∙府制	度もしくは	法令等で	市が実施 ⁻	する義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合は	その説	明		<u>'</u>									
(5)	総合計画の体系	章 3	健康	東で安心	心して暮	らせ	さまちづくり				節		1		細節	2	3
		<u> </u>		区	分	□ 内部管理	里		建設	———— 战事業	☑ その	他					
		対象 (誰を、何を)			範囲	范囲等 中学校修了前児童											
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	か)			 手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健 な成長に資することを目的とする。										
		結果 (どのような効果	早が得られ	こるのか)) 児童	福祉	止の増進										
(7)		児童手当の式 O歳〜3歳未 3歳〜小学校 3歳〜小学校 中学生:10, (所得制限以 ※所得制限隊	満:月額 :修了前 :修了前 :修了前 との方)	15, 00 (第1• <i>2</i> (第3子 特例紹	00円 2子): 月 ·以降): 計付: 月程]額1 月額 額:5	頁15,000円	合、所得	73	6万円]未満						
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	3	項	2		目	2	大事業	2	中事業	1	小事業	1
		:	項	<u> </u>	:			平成26 (2014:			:		平成2 (2015	7年度 年度)	·	平成2 (2016	
					予算(千F	円)		決算	(千円)	予算(千円)	決算見:	込(千円)	予算(千円)		
			事業費	•		6,43	30,205			6,295,730		6,364,725		6,302,285		6,357,860	
		人件費	人件費 職員数				2.00				2.00		2.00		2.00		2.50
			総割	頁(B)	千	円	16,600			15,894			16,704				20,425
	- 		事業費()		6,446,805				6,311,624		6,381,429				
(9)	事業費と 財源の内訳	7	持定財源				5,464,072				5,348,691						
		内 ——		国 ——— 苻			·	97,939 66,133			4,403,683			 		<u> </u>	
		訳		<u></u> の他			30	00,133	945,008		·						
			市負担				98	82,733		962,933				1		-	
		<u> </u>		 方債				0		0		0			0	_	
		内 訳	そ(の他				0			0		0		0		
)	一般	財源			98	82,733			962,933	971,080			975,273		972,058
		貝	才源計(C	(D+C			6,4	46,805			6,311,624		6,381,429		6,318,989		6,378,285
		☑ 直接	実施														
	実施方法	□ 委託	:又は一i	部委託		4	委託先 ② ③										
(10)	(該当するもの						こな委託内容	1									
	は全部チェック)	□ 補助	□会 ■ 色虾	金			交付先	2									
		口 作用 <i>功</i> 」) 业 「	<u>- 11/</u>			スロル	3									
		□ その他															

			指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			支給件数(年間延べ件数)	目標値	(単	位:件)	6	14,513.00	607,000.00	609,062.00
		指標 内容			実績値	(単	位:件)	6	05,859.00	608,888.00	
	1					達成度份	(i)		98.6	100.3	
		目標値	過去の実績に基づく		単位当た	総事業費	(単位:千円)		10.42	10.38	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)	1.61		1.60	
活動指標			支給金額		目標値	(単位	な:千円)	6,4	30,205.00	6,364,725.00	6,357,860.00
標		指標 内容			実績値	(単位	な:千円)	6,2	95,730.00	6,302,285.00	
	2					達成度(%	(ó)		97.9	99.0	
		目標値	過去の実績に基づく		単位当た	総事業費	(単位:千円)		1.00	1.00	
		の積算 方法					一般財源(単位:千円)		0.16	0.15	
					目標値	(単			0.00	0.00	0.00
		指標 内容		_				0.00		0.00	
	1					達成度(%)		0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)	0.0		0.00	
2 ば		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単	≦位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	≦位∶)		0.00	0.00	
	2					達成度(%	6)	0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	た 総事業費(単位:千円) 一般財源(単位:千円)			0.00	0.00	
		方法			りコスト			0.00		0.00	
の の が 困指	1	活動 内容						目標			
盟難な場合	2	成果 内容	国制度に基づき中学校修 を支給する。	§了前の児童のいる	J、児童手当	達成 状況	家庭等における生活の安定及び、次代の社会担う児童の健やかな成長に寄与している。				
	•	ي	う後の方向性 □ (実施計画)	拡充	☑ 継続	Ē	□縮小	•	J	廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		法定受	と託事務であり、3 務改善を行ってい		 付、入力等	、大量事務を	左 臨時雇	L 用員で行	い、事務処理の刻	効率化を図るな

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00266	事業名	児童手当給付事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ш та 	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
	妥当性		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	2	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	3	
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)		16	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / □ 到 11 付票 * 行 刈 11 付票 で 1 じ で 1 じ こ 足 重 的 な 11 行票 改 足 で 1 〕	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	F	<u></u>
(2)	有効性 (20点)	18	a. 事業の目的と受益者は先生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	点
	\ = - / /				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	F	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	_	
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		18	②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			b. 事業費は増大したが、市負担はそれほど増加していない。(3点)	3	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	18	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
/	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	<u> </u>	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00266		
2 各視点	なからの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務引	事業の現状分析				
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題 としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	家庭等における生活の安定 として、児童手当法に基づき	こに寄与するとともにまた。	こ、次代の社会を担う児童の健	やかな成長に資することを目的
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特詞	己事項)		

争耒金亏 0020/

事務事業名	母子福祉センター事業						
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美		

	1.101 1.010 10																		
(1)	事業開始年度	昭和62年度	召和62年度																
(2)	直近の改正				改正 内容														
(3)	根拠法令等	母子及び父子	子並びに	こ寡婦	福祉法	8													
		□ 全部		一部	 以(上乗せ	∵、横	出し等あり	し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)											
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合に	はその説	明													
(5)	総合計画の体系	章	3 健	康で安	. 心して暮	事らせ	とるまちづく	くり			節			1		細節	3	33	
		<u> </u>			X	分	□内部	 ß管理		<u> </u>		☑ ₹	その他	<u> </u>			<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	団等 母子家庭及び寡婦												
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	こしたいの	のか)	母子	子家原	 												
		結果 (どのような効果が得られるのか) 母子家庭及び寡婦の自立と生活の安定。																	
(7)		母子家庭及び	ぶ寡婦の	70相談	窓口を開	を開設するとともに、自立に役立つ技能習得を開催する事業を吹田市母子寡婦福祉会に委託する。													
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	k :	3	項	2		目	4	大事	業	1	中事業	1	小事業	1	
		項目							² 成26年 2014年						7年度 年度)			28年度 6年度)	
							予算((千円)		決	等(千円)	予	算(千	円)	決算見	,込(千円)	予算((千円)	
		事業費(A)						2,	,583		2,58	33		2,583		2,569	9	2,583	
		人件費 職員数 人件費 (1) (1) (1) (2) (1)			人	0.20		0.20		0.2	20		0.20		0.00	ס	0.20		
			総額(B)			円								1,671			0	1,634	
	市 ** 		事業費									4,254		2,569		4,217			
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財				529					_		530					
		内		国 —— 府			529			529 0			530 0)	530		
		訳		の他			0			0				0				0	
		ļļ	 市負担					3,	,714	3,643							9		
		<u></u>	地	 2方債					0	0		0		0		(0	0	
		内 訳 	7	の他					0		0			0		(o o	0	
		<u> </u>	— J	般財源				3,	,714		3,64	.3		3,724		2,039	9	3,687	
		貝	け源計((C+D))			4,	,243		4,17	' 2		4,254		2,569	9	4,217	
		□直接	実施																
	実施方法	☑ 委託又は一部委託				委託先	-	① 吹 ② ③	(田7	市母子寡婦社	国祉会 								
(10)						É	とな委託内		-	₹□ 0	の開設、技能	習得講座	図の開	催					
/	(該当するものは全部チェック)								1										
		│	□ 補助金・負担金			交付先		2											
		□ その)他				 内容		3										
		I	- —			1													

)指標等	指標項目	■		項目			6年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			講座参加者数(到	些べ)	目標値	(単位:	人)		570.00	609.00	492.00
		指標 内容			実績値	(単位:	人)		461.00	427.00	
	1					達成度(%)			80.9	70.1	
_		目標値	参加定員数		単位当た	総事業費(単	位:千円)	9.05		6.02	
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		7.90	4.78	
活動指標			相談受付件数		目標値	(単位:	人)		50.00	50.00	50.00
標		指標 内容			実績値	実績値 (単位:人)			28.00	20.00	
	2					達成度(%)		56.0		40.0	
		目標値 の積算	開催数		単位当た	総事業費(単	位:千円)		149.04	128.45	
		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		130.14	101.95	
			講座修了者数		目標値	(単位:	人)		60.00	70.00	44.00
		指標 内容			実績値	(単位:	人)		44.00	61.00	
	1					達成度(%)			73.3	87.1	
2		目標値 の積算	講座参加者数		単位当た	総事業費(単	位:千円)		94.84	42.11	
\smile		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		82.82	33.43	
成果指標					目標値	(単位	:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位	::)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算				総事業費(単位:千円)		0.00		0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単	位:千円)		0.00	0.00	
の3 がシ	1	活動 内容						目標			
困指											
な場合	2	成果 内容						達成 状況			
	<u> </u>	4	<u>」</u> 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続		□ 縮小	<u> </u>	□ 月	≨ □	<u></u> 終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	技能習得講座の需活の自立促進を図進する事業の確立	っている。今後	後も事業内容	等を改善し	し、就労に	に結びつく	講座や、ひとり親	家庭の自立を促

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	100207	事業名	母子福祉センター事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u>п п п</u>		и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	 点
	妥当性		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点
(1)		18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/ix
		18	a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
			b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	 点
(2)	有効性 (20点)		3事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	 5	<u></u>
					点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ト 単位光はリコストは無わ済エズなるが、北美の合地がなる (2.5)		
			b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	14	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(== 71117)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 - ・		<u> </u>
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
		18	②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性 (20点)		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20 m)		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	14 64		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00267					
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載)					
3 事 終 事	事業の現状分析							
	の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組		部として重点的な取組	☑ その他			
(2)各視点	妥当性 20 10 5 10 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7							
(3)現状分	事業を母子寡婦福祉会へ委託しており、市では技能習得講座の内容等で助言を行い、役割分担をしている。 他市と比較、分析し、事業内容を改善する必要があり、今年度は、資格取得試験まで実施するパソコン講座を開催する。今後も就労に結びつく講座の開催や、ひとり親家庭の自立をより促進する事業へ改善していく必要がある。							
4 その州	1(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	·· ··································					
	2 (III (III (III)) (III) (III)							

事業番号	00268
于不田 7	00200

事務事業名					
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美

	1.101 1.010 10																
(1)	事業開始年度	昭和50年度			改正	\ 3 .00	ᆟᆮᆂᇕᄜ	 -1	ᆫᆖᄪᅩᅷᅩᆚ	ш ## 2	5 1 1 4 11 /	\					
(2)	直近の改正	平成24年度			内容	通 防	元医獠賀切	戍 、引	課祝1	世帯の	の自己負担会	€見但し					
(3)	根拠法令等	児童福祉法、	吹田市	ī児童福	祉法に	基づ	く費用徴収	ス規則	、吹田ī	市助	産の実施おる	よび母子保	護の実施に	こ関する規	則		
		□ 全部		一部	(上乗せ	、横	出し等あり)	٥	v t	し(国・府行	制度もしくは	法令等で	市が実施す	⁻ る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	:場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章 ;	3 健	康で安	心して着	事らせ	とるまちづく	[IJ			節		1		細節	23	3
		<u> </u>	<u> </u>		区	分	□内部	管理]	計事業	☑ その	他				
<i>(</i> - <i>)</i>	_ ,,	対象 (誰を、何を)			範囲	命囲等 保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない妊産婦。 (非課税世帯及び生活保護世帯)										——— 奎婦。	
(6)	目 的	目標(どういう状態に	目標 (どういう状態にしたいのか)				出産費用を助成する。										
		結果 (どのような効!	結果 どのような効果が得られるのか)														
(7)	事業概要	保健上必要があるにもかかわらず、る。 (本市では、加入している健康保険が											産婦に対	して、入院	出産にかっ	かる費用を	助成す
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款		3	項	2		目	4	大事業	2	中事業	1	小事業	1
			項目						² 成26年 2014年					?7年度 6年度)		平成28 (2016 	
							予算(千円)			決	算(千円)	予算(千円)	決算見込	以(千円)	予算(-	千円)
		事業費(A)						9	,400		7,10	9	9,400		7,423		9,000
		入件費 職		員数		人 —			0.30		0.30	0	0.30		0.30		0.30
				総額(B) 千円		·円			,490		2,38				2,506	·	
			事業費)		11,890				9,49	+					
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財				5,994				3,88		5,983		4,000		5,764
		内		国 —— 府			3,996			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			3,989		2,506		3,825
		訳		-MT -の他				- 1	,998	1,295 0			1,994		1,494		1,939 0
			 市負担					5	,896		5,60		5,923		5,929		5,687
		$\overline{}$!方債					0		•	0	0		0		0
		内 訳		· の他					0				0		0		0
			— f	般財源				5	,896		5,60	3	5,923		5,929		5,687
		ļ.	才源計 (C+D)				11	,890		9,49	3	11,906		9,929		11,451
	□ 直接実施							•									
							委託先				立行政法人 証社法人 大						
		☑ 委託	E又は一	部委託	į		女礼儿	-	3	五阳		双阶况工五	火山州坑				
	実施方法					<u></u>	 Eな委託内	容	<u>》</u> 入院助	 産							
(10)	(該当するもの					-	_ 5. ~ HOLD	_	1								
	は全部チェック)	□ 補助	カ金∙負	担金			交付先		2								
									3								
	-	□ <i>そ</i> の	□ その他				内容										

		指標等	指標項目			項目		26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			助産件数		目標値	(単位:件)		20.00	20.00	18.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		16.00	14.00	
	1					達成度(%)		80.0	70.0	
		目標値	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)		593.38	709.21	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		350.63 423.50		
活動指標			助成金額		目標値	(単位:円)	9,400.00		9,400.00	9,000.00
標		指標 内容			実績値	(単位:円)		7,109.00	7,423.00	
	2					達成度(%)		75.6	79.0	
		目標値 の積算	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)		1.34	1.34	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.79	0.80	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
の の 3 が に に に に に に に に に に に に に	1	活動 内容					目標			
困難な場合	2	成果 内容	経済的理由で入りができた。	完助産を受けることが出	来ない妊産婦	が安心して出産すること	達成状況	母子の福祉	祉の増進を図ること	ができた。
	ı	4	・ 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	□縮小	\		廃止 □	終期の設定
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	児童福祉法に基づく	(事業であり、	真に必要とする世帯へ	の支援	となってい	る。	

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00268	事業名	助産施設事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> 5の視点)評価 評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		$\overline{}$
古十加	の役点	出版出			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 	_	
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性 (20点)	14	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
	(20無)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 	 :	
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	,: :	
(2)	有効性	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
\ - /	(20点)		③事業は目標どおりに進捗していますか。	·····	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	10	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
(4)	(20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。	i	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	i	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	i	
<i>(</i> – <i>)</i>	持続可		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(5)	能性 (20点)	20	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	i	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	i	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
重亚研	 「点合計		← ※自動計算します。	<u> </u>	
	点満点)	88	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		
		I			

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00268		
2 各視点	なからの評価の点数で	では表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務특	事業の現状分析				
(1)本事業	の位置付け	□ 主要な政策課題 としての取組	□ 部。	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果			妥当性 20 15 10 5 0	
(3)現状分	↑析	経済面での救済措置が必要	夏な生活保護世帯に対し	して必要な事業である。	
4 その仕	九(国・府の動向など、	当該事業に関係する特証	7事項)		
	フィー 111 ペン MILIT の C く		U T·X/		

事業番号	00269
	00200

事務事業名			市外母子生活支援施設入所事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

	丁 勿于未以他	N 文													
(1)	事業開始年度	平成13年度	:	Ī	改正										
(2)	直近の改正				内容										
(3)	根拠法令等	児童福祉法			•										
		口 全部		一部(_	上乗せ、村	乗せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務を							⁻ る義務あ	<u>ម)</u>	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックしたり	場合はる	その説明			1							
(5)	総合計画の体系	章	3 健原	東で安心	して暮ら	ー せるまちづく	(1)			節		1		———— 細節	33
		<u> </u>			区分	□内部	管理		建設	 :事業	☑ その作	<u>t</u>	<u> </u>		
		対象 (誰を、何を)			節囲等	囲等 経済的な理由やDVなどで子ども(18歳まで)の養育を十分にできない母とその子ども									
(6)	目 的	目標 (どういう状態にしたいのか) 市タ				 外の母子生活支援施設への入所により、母子の生活の安定を図る。									
		結果 (どのような効!	里が得られ	ろのか)	母子家	母子家庭の自立と生活の安定									
(7)	事業概要 	世帯は0円、		トについ	ては市民	税額または	所得税額	iによ	り月額	[2, 200F]から9, 30 	0円。		生活保護	及び市民税非課税
(8)	予算コード	会計	1	款	3	項	2		目	4	大事業	3	中事業	1	小事業 1
			項	=				26年) 4年度				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28年度 (2016年度)
						予算(千円)	Ī	決算(千円)	予算(=	千円)	決算見辺	(千円)	予算(千円)
			事業費	(A)		14,400)		9,662		12,600		2,870	12,000
		人件費	職員	員数	人	0.25		5	0.25			0.25		0.25	0.25
		7(1) 9	総額	(B)	千円		2,075	2,075		1,987		2,088		2,088	2,043
	site =++ t		事業費(16,475				11,649	<u> </u>		<u> </u>		
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源			10,800				7,029		9,450		2,476	
		内		国 ——— 苻		7,200 3,600							<u> </u>		6,000
		訳		[™] の他)		2,343		3,150		995	•
			市負担				5,675	1-					1		
				` 方債			(+		0		0		0	
		内 訳		<u></u> の他			(0		0		0	
			—————————————————————————————————————	財源			5,675	5		4,620		5,238		2,482	5,043
		ļ	財源計(C)+D)			16,475	5		11,649		14,688		4,958	14,043
	□ 直接実施														
							1	市タ	トの母	子生活支持	爰施設				
		☑ 委託	E又は一i	部委託		委託先	2								
	実施方法 実施方法					· / /	3	<u> </u>	- ,						
(10)						主な委託内		隻を要 ▼	する	子の受け	入れ				
	(該当するもの は全部チェック)	<u>+</u> +⊓	ሐ <mark>ል</mark> ዾኯ	14		*	1	1							
		■ □ 補 期 ■	カ金∙負担	全重		交付先	2	-							
			- III.			 内容	3	1							
		□ ₹ <i>0</i> .	□ その他												

		指標等	指標項目	=		項目			6年度	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			入所世帯数		目標値	(単	位:世帯)		5.00	5.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単	位:世帯)		4.00	2.00	
	1					達成度	(%)		80.0	40.0	
		目標値	過去の実績に基	ずく	単位当た	総事業費	(単位:千円)		2,912.25	2,479.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		1,155.00	1,241.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
			退所世帯数		目標値	(単	位:世帯)		4.00	2.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単	位:世帯)		2.00	2.00	
	1					達成度	(%)		50.0	100.0	
		目標値	全入所世帯数		単位当た	総事業費	(単位:千円)		5,824.50	2,479.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		2,310.00	1,241.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度	(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費	(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源	(単位:千円)		0.00	0.00	
のが困難	1	活動 内容									
難な場合	2	成果 内容						達成状況			
	(4)総合評価		トライン (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	Ē	□ 縮小	\	□ J	廃止 □	終期の設定
(4)総1			評価の説明	委託先の施設と連携を受けるなど、担当ま関との連携が必要。	者の相談スコ						

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00269	事業名	市外母子生活支援施設入所事業	事業区分	その他

<u>ラリュギ1</u> 評値			
	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
	b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3	点
	②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
<u> </u>	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
) 1	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
	a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	······································	
	a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	•	
	a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5	点
	②事業の目的と受益者が一致していますか。		
<u> </u>	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
) 2)	, .	
	a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
	a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
	①単位当たりコストは適正ですか。	<u>. </u>	
	a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
4	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
生 18			
	a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
	④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
	b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	 点
	①サービスの対象範囲は適正ですか。	<u> </u>	
	b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
	②サービスの水準は適正ですか。		
4	b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
<u>‡</u> 1			
	a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
	4)公平性を確保するための取組みをしていますか。		
	a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		<i></i>
	a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	 点
	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
可	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	 点
1		<u> </u>	
)	⑤	2	 点
		3	
		F	<u></u>
	a. 処在い事未りのソルで、物付する手未刈木で1万 何ることができる。(3点/	<u> </u>	点
	90	 ④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) 6 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て)) 	 ④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点) ★ ※自動計算します。

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00269		
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に	応じて記載)	-	
2 車 黎 車	事業の現状分析				
	の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組		として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 10 5 0 効率性	
(3)現状分	·析	近年、入所世帯数が減少して で、配慮を必要とする家庭へ	ているが、法定受託事 、の支援として成果が.	務であり、母子家庭の生活 上がっている。	の安定と自立を促進すること
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記]事項)		
_ , , ,					

事業番号 00270

事務事業名	ひとり親家庭自立支援事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美			

	于初于木VM														
(1)	事業開始年度	平成15年度	£	改正		象に父子家庭	存の父を订	∮ 力□							
(2)	直近の改正	平成25年度	Ę	内名	容	外に久	とり入る』	⊒ <i>/</i> /H							
(3)	根拠法令等	母子及び父	子並びに	寡婦福祉氵	去										
						乗せ、横出し等あり) 図 なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)									
(4)	市単独事業区分		ェックした‡	場合はそ <i>0</i> .)説明										
(5)	総合計画の体系	章	3 健身	 東で安心し	て暮ら ⁻	て暮らせるまちづくり 節 1 細節								33	
		=			区分	□ 内部管理 □ 建設事業 □ その他									
	目 的	対象(誰を、何を))		範囲等	囲等 ひとり親家庭の父及び母、寡婦									
(6)		目標(どういう状態	にしたいの	לי)	情報提	 B提供や助言を行うことにより、ひとり親家庭の自立を図る。									
		結果 (どのような効	1里が得られ	(るのか)	ひとり親	見家庭の自立	と生活の	安定							
(7)	尹未似女	母子・父子 E を行うととも	自立支援』 に、就職及	員を配置し 及び自立 <i>の</i>	、ひとり)促進を	親家庭の父 図るために	または母自立支援	及び寡幼 給付金の	帚の相談に届 の支給及びす	なじ、資金貸 対職活動の3	付業務、 を援を行 [・]	または就労 う。	に向けて	の情報提供	や助言
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	4	大事業	4	中事業	1	小事業	1
			項目	I			平成2 (2014				平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 ^年 (2016年	
							千円)	決算	〔千円〕	予算(刊	-円)	決算見込	(千円)	予算(千	円)
		事業費		(A)		21,513			11,100		17,041		12,526		17,370
		人件費 人件費	職員	員数	人		0.25		0.25		0.25		0.00	 	0.25
		人件費 総額(B)			千円	2,075		1,987		2,088		3		0 2,04	
	+ ** # 1	糸	総事業費(<i>)</i>					13,087						19,413	
(9)	事業費と 財源の内訳	l —	特定財源											1	13,162
		内 ——	E				13,461		5,934		10,203		7,252		
		訳					13,445		5,934 5,782				7,252		13,147
		訳							5,934		10,203				
		訳 <u></u>		府 の他			13,445 0		5,934 5,782 137		10,203 10,188 0		7,252 0		13,147
			その 市負担	府 の他			13,445 0 16		5,934 5,782 137 15		10,203 10,188 0 15		7,252 0 0		13,147 0 15
			その 市負担 地フ	存 の他 (D)			13,445 0 16 10,127		5,934 5,782 137 15 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926		7,252 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251
		訳 (内訳)	その 市負担 地プ その 一般	府 の他 (D) 方債 の他 は財源			13,445 0 16 10,127 0 0 10,127		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
		訳 (内訳)	その 市負担 地フ その 一般 財源計(C	府 の他 (D) 方債 の他 は財源			13,445 0 16 10,127 0		5,934 5,782 137 15 7,153 0		10,203 10,188 0 15 8,926 0		7,252 0 0 5,274 0		13,147 0 15 6,251 0
		訳 (内訳)	その 市負担 地プ その 一般	府 の他 (D) 方債 の他 は財源			13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
		(内訳) 直	その 市負担 せっ その 一般 財源計(C 接実施	所 の他 (D) 方債 の他 は財源 C+D)		委託先	13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
		(内訳) 直	その 市負担 地フ その 一般 財源計(C	所 の他 (D) 方債 の他 は財源 C+D)		委託先	13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
(10)	実施方法	(内訳) 直	その 市負担 せっ その 一般 財源計(C 接実施	所 の他 (D) 方債 の他 は財源 C+D)		委託先	13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588 1 2 3		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
(10)	(該当するもの	(内訳) 直	その 市負担 せっ その 一般 財源計(C 接実施	所 の他 (D) 方債 の他 は財源 C+D)			13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588 1 2 3		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
(10)		(内訳) 重	その 市負担 せっ その 一般 財源計(C 接実施	が の他 (D) 方債 の他 以財源 C+D) 部委託			13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588 (1) ② ③ ③		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251
(10)	(該当するもの	(内訳) 重	その 市負担 地グ その 一般 財源計(C 接実施	が の他 (D) 方債 の他 以財源 C+D) 部委託		主な委託内容	13,445 0 16 10,127 0 0 10,127 23,588 1 2 3		5,934 5,782 137 15 7,153 0 0 7,153		10,203 10,188 0 15 8,926 0 0 8,926		7,252 0 0 5,274 0 0 5,274		13,147 0 15 6,251 0 0 6,251

)指標等	指標項目			項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			就労支援プログラム	策定件数	目標値	(単作	立:件)		6.00	6.00	6.00
		指標 内容			実績値	(単作	立:件)		7.00	7.00	
	1	—				達成度(%)		116.7	116.7	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		1,893.86	1,789.43	
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		1,067.86	753.43	
活動指標			相談受付件数		目標値	(単作	立:件)		720.00	720.00	720.00
標		指標 内容			実績値	(単作	立:件)		1,016.00	1,306.00	
	2					達成度(%)		141.1	181.4	
		目標値 の積算	一日3名×240日		単位当た	総事業費(単位:千円)		13.05	9.59	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		7.36	4.04	
			参加者のうち、就職は)うち、就職に結びついた件数		(単作	立:件)		7.00	7.00	6.00
		指標 内容			実績値	(単作	立:件)		6.00	6.00	
	1				達成度(%)		85.7	85.7		
		目標値 の積算		参加者件数	単位当た	総事業費(単位:千円)		2,209.50	2,087.67	
2 。 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		1,245.83	879.00	
成果指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た			0.00	0.00		
		方法			りコスト			0.00		0.00	
の3	1	活動						目標			
がが困糖)	内容									
難標なで		成果						達成			
な示合	2	内容						大汉 大汉			
		1	 今後の方向性	☑ 拡充				\		<u>莱</u> 止	———— 終期の設定
			(実施計画) ひ								の知識、経験に基
				いた相談事業を原業支援専門員の							
(4)総·	合評	価									
			評価の説明								

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00270	事業名	ひとり親家庭自立支援事業	事業区分	その他

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
4 \	妥当性	20	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
1)	(20点)	20	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	i	
			a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
0)	有効性	10	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	······	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。	-	
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
		· I IX	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
o	効率性		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)	(20点)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	•	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	······································	
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
4)	公平性	10	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
4)	(20点)	18	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
_\	持続可	10	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
5)	能性 (20点)	18	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	i	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号 002	270		
2 各視点からの評価の点数で	ごは表れない事項(必要に応し	ごて記載)		
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持続		妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分析	ひとり親家庭の生活の安定と自ま 今後は就労支援を強化する必要 大阪府母子父子寡婦福祉資金の 直す必要があり、大阪府と協議し	「がある。 D貸付業務につい		
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項	項)		

事務事業名	交通遺児手当支給事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美			

	于切于木V/W	1女													
(1)		昭和46年度	Ē	改:		給金額の変勇	更 月額8	8, 000円	から8, 10	0円					
(2)	直近の改正	平成8年度		内	谷										
(3)	根拠法令等	吹田市交通	遺児支給	条例											
		☑ 全部		一部(上	乗せ、横出し等あり) ロ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)										
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ニックしたナ	場合はその	の説明	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
(5)	総合計画の体系	章	3 健身	 東で安心し		せるまちづくり	<u></u>		節	1			細節	33	
					区分	□ 内部管		□ 建設	设事業	☑ その他					
(0)		対象 (誰を、何を)			範囲等	節囲等 交通事故により保護者を失った中学校修了前の児童									
(6)	目 的	目標 (どういう状態)	(どういう状態にしたいのか) 文通				給により	養育者の約	经済的負担	を軽減					
		結果 (どのような効!	果が得られ	しるのか)	児童の	福祉の増進									
(7) 事業概要 中学校修了前の児童で交通事故により両親の一方が死亡または ※所得制限限度額は、子ども1人扶養の場合、570万円未満。							たは重度 満。	₹障がいとな	いた場合、養	育者に	交通遺児	手当を月額	類8, 100円	支給。	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	項	2	目	5	大事業	1	中事業	1	小事業	1
			項[B			平成2 (2014	6年度 年度)			平成2 ⁻ (2015			平成28 ² (2016年	
						予算(千円)			(千円)			決算見込	【千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)		1,458 0.05			1,264		1,778		1,648		1,361
		人件費	職員	員数	人				0.05		0.05		0.05		0.05
			総額(B)		千円	415							418		409
	車業弗し		と事業費(性中世紀				1,873						2,066		1,770
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源	^{民(C)} 国 国			0						0	<u> </u>	0
		内 		<u>当</u> 府		+	0		0		0		0		0
		訳 · · ·		<u></u> の他			0		0		0		0		0
			市負担	(D)			1,873		1,661		2,196		2,066		1,770
		n n		方債			0		0		0		0		0
		内		の他 - 			0		0		320		0		0
) 			1,873		1,661		1,876		2,066		1,770
			財源計(C 	<u>,+D)</u>			1,873		1,661		2,196		2,066		1,770
			女人 爬 ———				1								
						<u> </u>									
			₹ च /⊥ ₹	加工一											
	宇施古法	□ 委訓	託又は一部	部委託		安武兀	3								
(10)	実施方法	□ 委訓	託又は一i 	部委託 		安託元主な委託内容	③ 李								
(10)					<u> </u>	主な委託内容	③ 容 ①								
(10)	(該当するもの		託又は一部				3 3 1 2								
(10)	(該当するもの		助金∙負担			主な委託内容	③ 容 ①								

2 評	<u>ри</u> • »)指標等	指標項目	■		項目	平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			助成件数(延べ件	‡数)	目標値	(単位:件)	180.00	180.00	168.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)	156.00	168.00	
	1					達成度(%)	86.7	93.3	
		日標値	過去の実績に基	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)	10.65	12.30	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	10.65	12.30	
活動指標			受給児童		目標値	(単位:人)	13.00	13.00	14.00
標		指標 内容			実績値	(単位:人)	13.00	14.00	
	2					達成度(%)	100.0	107.7	
		目標値	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)	127.85	147.57	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	127.85	147.57	
					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	1					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
2 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00	0.00	
の が 困難 な	1	活動内容	中学校修了前のなった場合、養育	児童で交通事故により 「者に交通遺児手当をり	両親の一方が列 月額8, 100円3	で亡または重度障がいと 支給。	が図られ	祉の増進と養育者の た。)経済的負担の軽減
な 場 合	2	成果 内容				<u></u>	達成 状況		
		4	う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮小		廃止	終期の設定
(4)総·	合評		評価の説明	交通事故で保護者成に効果があるが、	を失い、突然 、手当支給範	 経済的・精神的に不安 囲、金額等見直しを検	定になった家庭を討する必要がある	支援することで、う	子どもの健全な育

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00271	事業名	交通遺児手当支給事業	事業区分	

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> птр</u>		и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	妥当性 (20点)	12	c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	 点
(1)			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			ウ/ロ・助力 15 15 15 15 15 15 15 1	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	╧╬┢╬		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。		
			①早位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	 点
			B. 単位当たりコスドは概ね過止であるが、改善の未地がある。(3点) ②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			② 元 迷なり — ころの徒供に劣めていますが。 	5	
(3)	効率性 (20点)	16	3. 近尾なり一とへ提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(3点) 3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			4事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			世	3	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
				3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。		
	— 14		と	3	 点
(4)	公平性 (20点)	16			
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	
			a. 過止な支無有負担を求めている。文は支無有負担を必要としない理由・根拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。		点
			4)公十ほど唯保するための収組のどしていますが。 	E	
			1 事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		点
			①争采用如当物と比べて、争采負で叩貝担が入幅に指入しているせんが。 	F	
			a. 事業員や同負担はほどんと増加していない。(3点) ②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		点
	持続可			5	
(5)	能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		点
	(20点)			o	<u></u>
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 ト 現在の事業のを以去る。一字の事業効果は得られるが、見違しにより、さらに効果的な事業にできる会地がある。(2点)	•	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	「点合計 点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00271		
2 各視点	点からの評価の点数で	ば表れない事項(必要に	応じて記載)		
3 事務引	事業の現状分析				
(1)本事業	美の位置付け	主要な政策課題 ししての取組		形として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	気からの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 有効性 効率性	
(3)現状分	分析	交通遺児の福祉の増進に一 直しを検討する必要がある。	・定の役割をはたして	いるが、本市独自の制度であ	あり、手当支給範囲、金額等見
4 その他	也(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	書 項)		

事務事業名	遺児手当支給事業									
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美					

	于初于未U/M	N 女															
(1)	事業開始年度	昭和47年度			改正	支給?	類の変面	日嫍8	000	田か	58, 100F	Щ					
(2)	直近の改正	平成8年度			内容	又们	吸り及文	万顿0,		1 1/5	JU, 1001	J					
(3)	根拠法令等	吹田市遺児	手当支給	条例													
		☑ 全部		一部(上乗せ、	、横出	出し等あり))	□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした均	易合はる	その説明	明											
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健康	で安心	して暮	らせる	るまちづく	_ુ			節		1		細節	33	
		;	<u> </u>		区分	分	□ 内部管	 管理		建設	 :事業	☑ その ⁶	 他				
		対象 (誰を、何を)			範囲	等	等両親を失った中学校修了前児童										
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	遺児	手当	を支給する	ることによ	にり、君	養育者	が経済的	負担の軽減	域を図る。						
		結果 (どのような効!)	児童	童の福祉の増進を図る。													
(7)	事業概要 H27事業別	中学校修了前の児童で両親が死亡又は重度障がいとなった場合、養育者に遺児手当を月額8, 100円支給。 ※所得制限限度額は、子ども1人扶養の場合、570万円未満。															
(8)	予算コード	会計	1	款	3		項	2		<u> </u>	5	大事業	2	中事業	1	小事業 1	
			項目	∃				平成2 (2014						7年度 6年度)		平成28年度 (2016年度)	
			<i>></i> -	_			—————————————————————————————————————	千円)		——— 決算((千円)	予算(千円)	決算見	친(千円)	予算(千円)	
			(A)				1,944			1,393		1,556		1,701	1,750		
		人件費	職員	職員数人総額(B)千円			0.05				0.05		0.05		0.05	0.05	
		八川貞	総額			円	415				398	418		418		409	
	NI		事業費(2,359				1,791			2,119		2,159	
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財源				0				0						
		内		国 ——— 守			0				0		0		0		
		訳 		<u>。</u> D他			0				0						
			市負担					2,359)		1,790			_		2,159	
		$\hat{\mathbf{x}}$	地ブ	方債				C)		0		0	0		0	
		内 訳	そ0	の他				0)		0		0		0	0	
		<u> </u>		財源				2,359	_		1,790		1,974	2,119 2,15			
			才源計(C	;+D)				2,359			1,790		1,974		2,119	2,159	
		☑ 直接	美他——		Т			1									
							委託先	2									
		□ 委託	:又は一部	部委託				3									
(10)	実施方法					主	な委託内容	容									
(10)	(該当するものは全部チェック)							1									
	10 T HP / T / / /	□ 補助	金•負担	金			交付先	2									
								3									
		□ その	他				内容										

2 評	<u> </u>	1指標等	指標項目			項目		t26年度 14年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			延べ支給件数		目標値	(単位:件)		240.00	192.00	216.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)		172.00	204.00	
	1					達成度(%)		71.7	106.3	
		目標値		づく	単位当た	総事業費(単位:千	円)	10.41	10.39	
1 ————————————————————————————————————		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千)	円)	10.41	10.39	
活動指標			受給児童数		目標値	(単位:人)		20.00	16.00	17.00
標		指標 内容			実績値	(単位:人)		16.00	17.00	
	2					達成度(%)		80.0	106.3	
		目標値 の積算	前年度の実績に	基づく	単位当た	総事業費(単位:千	円)	111.94	124.65	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	111.94	124.65	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千	円)	0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千)	円)	0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千	円)	0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)	0.00	0.00	
(3) が あが を が を おが も おが も おが も おが も おが も おが も り も り も り も り も り も り も り も り も り も	1	活動 内容					目標			
難な場合	2	成果 内容	中学校修了前の 児手当を月額8,	児童で両親が死亡又は 100円支給。	ま重度障かいとな	なった場合、養育者に	道 達成 状況	児童の福 が図られ <i>†</i>)経済的負担の軽減
			ー 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		宿小	_ J	秦止 □ :	終期の設定
(4)総合評価		価	評価の説明	主に両親を失った†容等、検討する必要		 的支援であり、児童	重の健全な	_ 育成のため	 に必要な施策で	あるが、金額、内

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	00272	事業名	遺児手当支給事業	事業区分	その他

	<u>現点からの</u> の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
<u> птр</u>		и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
				5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
	妥当性 (20点)	12	c. 施策の推進にはあまり効果がない事業である。(1点)	1	 点
(1)			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
			b. 実施意義は今もある。(3点)	3	 点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			ウ/ロ・助力 15 15 15 15 15 15 15 1	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
	╧╬┢╬		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	 点
			(4)市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	 点
			1単位当たりコストは適正ですか。		
			①早位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	 点
			B. 単位当たりコスドは概ね過止であるが、改善の未地がある。(3点) ②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
			② 元 迷なり — ころの徒供に劣めていますが。 	5	
(3)	効率性 (20点)	16	3. 近尾なり一とへ提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(3点) 3. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		点
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	 点
			4事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			世	3	 点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
				3	 点
			②サービスの水準は適正ですか。		
	— 14		と	3	 点
(4)	公平性 (20点)	16			
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		③適正な受益者負担を求めていますか。 a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5	
			a. 過止な支無有負担を求めている。文は支無有負担を必要としない理由・根拠がある。(3点) 4公平性を確保するための取組みをしていますか。		点
			4)公十ほど唯保するための収組のどしていますが。 	E	
			1 事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		点
			①争采用如当物と比べて、争采負で叩貝担が入幅に指入しているせんが。 	F	
			a. 事業員や同負担はほどんと増加していない。(3点) ②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		点
	持続可			5	
(5)	能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点) ③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		点
	(20点)			o	<u></u>
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 ト 現在の事業のを以去る。一字の事業効果は得られるが、見違しにより、さらに効果的な事業にできる会地がある。(2点)	•	
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	「点合計 点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号	00272		
2 各視点からの評価の点数で	では表れない事項(必要に)	応じて記載)		
3 事務事業の現状分析				
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しての取組	□ 部る	として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果	持	2	妥当性 20 5 0 効率性	
(3)現状分析	遺児の福祉の増進に一定の? を検討する必要がある。	役割を果たしているが	、本市独自の制度であり、	手当支給範囲、金額等見直し
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記	事項)		

事業番号 00273

事務事業名	ひとり親家庭医療費助成事業										
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美						

	丁 勿于未以他	ル 文																	
(1)	事業開始年度	昭和51年度		i	改正	山国原	±∽71 ±17 ↓	1 = 5+ =	ナスピ	t油の	夕秋	ない赤百か	ジャッセナ	め 計争も	こ 除ノナ の (D夕 我去?	が田		
(2)	直近の改正	平成26年度			内容 「	中国为	发笛护人	- X])	広1手 U J	'白秋	M-发史/J	ישטובוב	刈、刈水ル	ら除くものの	ノ右ができ	文史		
(3)	根拠法令等	大阪府市町村	すひとり	划親家庭區	医療費助	加成事	業費補助	助金交	₹付要	厚綱、	欠田	市ひとり親	見家庭の医	療費の助	成に関する	条例			
		□ 全部	٥	☑ 一部(.	上乗せ、	、横出	し等あり)			なし	(国∙府制	削度もしくに	は法令等で	市が実施す	る義務あ	9)		
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	と場合は さ	その説明		f得制限の i費です。)基準(;	こつい	て、府	は児	童扶養手当	i一部支給、	本市は旧児	童手当特例約	合付のため	、超えている話	 8分は市	
(5)	総合計画の体系	章 3	3	建康で安心	ルて暮ら	らせる	らまちづく	(IJ				節		1	;	細節	33	}	
			•		区分	分 [□ 内部	管理			建設	事業	☑ そ 0)他					
<i>(</i> - <i>)</i>	目 的	対象 (誰を、何を)			範囲	等 1	8歳に達	するロ	日以『	降の最	最初の	の3月31日	日までの児	登金、その	 D児童を養育	するひと	:り親または	養育者	
(6)		目標(どういう状態に	こしたい	のか)	ひとり	ノ親家	魔等の値	呆健 <i>σ</i>)向上	- に寄	与す	るため、国	医療費の関	力成を行う	0				
		結果 (どのような効!)	果が得ら	れるのか)	児童の	の福祉	り福祉の増進を図る。												
(7)	事業概要 H27事業別	18歳年度末までの児童と、その児童を養育するひとり親または、養育者の医療費の自己負担額の一部を助成する。 ※所得制限限度額は、子ども1人扶養の場合、所得570万円未満。																	
(8)	予算コード	会計	1	款	3	_	項	2		E		7	大事業	1	中事業	1	小事業	1	
			項	目						6年度 年度)					27年度 5年度)		平成28 (2016 ²		
				予算(千円)	ı	決	算(千円)	予算	(千円)	決算見辺	(千円)	予算(-	千円)				
			費(A)				222	,208			218,476		220,91	7	216,421		221,242		
		人件費	耶	戦員数	人		1.00			1.00					0.00		1.25		
			総額(B)		千円	၂	8,300			7,947		8,352				10,213			
	- 			₹(A+B)		230,508			·			+			·				
(9)	事業費と 財源の内訳		特定財	源(C) 			89,604			88,094			<u> </u>		5	_		88,410	
		内					89,604			0			1	00 01	3	95 910		0 88,410	
		訳		 その他					0	88,094			+	88,816		85,819 0		00,410	
				担(D)				140	,904			138,329		140,45	3	130,602		143,045	
			坩	 也方債					0			0		(0		0	
		内 訳 	7	その他					0			0		(0		0	
		Ŭ/\ ○	_	般財源				140	,904			138,329		140,45	3	130,602		143,045	
		貝	才源計	(C+D)				230	,508			226,423	3	229,269	9	216,421		231,455	
		☑ 直接	実施																
								-	1										
		□ 委託	と又は-	一部委託		•	委託先		2										
	実施方法					<u> </u>	<u>、チ</u> ナカ	rata.	3										
(10)	(該当するもの					土化	委託内	谷											
	は全部チェック)	┃ □ 補助	全. 色	坦 全			交付先	-	 (1) (2) 										
		日 日 1年以 日	」亚 ˙	.]르 亚			人以兀		3										
							 内容		<u> </u>										
		」しての	/ 1Ľ				かい												

2 評価の指標等 指標項目						項目			6年度 年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
(1)活動指標			助成件数(延べ件数)		目標値	(単位:件)		:	89,193.00	84,399.00	89,889.00	
		指標 内容			実績値	(単位:件)		{	85,978.00	80,922.00		
	1					達成度(%)			96.4 95.9			
		目標値	過去の実績に基づく		単位当た	総事業費(単位:千	円)		2.63	2.67] /	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)		1.61	1.61		
		指標 内容	助成額		目標値	(単位:千円)		2	12,712.00	213,284.00	214,090.00	
					実績値	(単位:千円)		20	08,861.00	216,421.00		
	2					達成度(%)		98.2		101.5		
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千	円)	1.08		1.00		
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千	円)		0.66	0.60		
		指標 内容			目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
					実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	1					達成度(%)			0.0	0.0		
		目標値 の積算 方法			単位当た	総事業費(単位:千	円)		0.00	0.00		
2 					りコスト	一般財源(単位:千	円)		0.00	0.00		
成 果 指 標		指標 内容 目標値 の 方法			目標値	(単位:)			0.00	0.00	0.00	
標					実績値	(単位:)			0.00	0.00		
	2					達成度(%)			0.0	0.0		
					単位当た	総事業費(単位:千	業費(単位:千円)		0.00	0.00		
					りコスト	一般財源(単位:千	円)		0.00	0.00		
の の3 が 困指	1	活動 内容						目標				
四難な場合 場合	2	成果 内容	18歳年度末までの児童と、その児童を養育するひとり親または、養育者の医療費の自己負担額の一部を助成する。					達成 状況		建全な育成と福祉の増進及び養育者の 担の軽減を図ることができた。		
	1 1		今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	☑ 継続 □ 縮기			□廃止□終期の設定			
(4)総合評価			評価の説明	配慮を必要とするで ども医療費助成制 限度額を府と同基 また、入院時の食事	度の対象が中 準に見直して	学校3年生までと 医療証の更新を行	なった。 い、事	ことを甚 業を継	カ案し、シ <i>ニ</i> 続する。			

所属名	子育て支援室				
事務事業番号	00273	事業 名	ひとり親家庭医療費助成事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点				
ш тп	107]兀灬	四丁 四 流					
(1)	妥当性 (20点)		①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)				
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		点		
			a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	 点		
			③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。				
			○社会状況の変化で時間の性過に伴い、事業の失態思報が得れていると70%。 	5	 点		
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。				
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点		
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。				
	有効性 (20点)	14	① / 1 到 1 1 1 1 元		 点		
			②事業の目的と受益者が一致していますか。				
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)		 点		
(2)			③事業は目標どおりに進捗していますか。				
			b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3	点 		
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		<u> </u>		
			b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3	点		
		20	①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>		
	効率性 (20点)		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点		
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_			
(3)			a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点		
			③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。				
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点 		
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 				
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)		点		
	公平性 (20点)	14	①サービスの対象範囲は適正ですか。 ・ ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **				
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点		
			②サービスの水準は適正ですか。				
(4)			c. サービスの水準が高いが、受益者以外の市民には理解が得られにくい。(1点)	1	点		
			③適正な受益者負担を求めていますか。				
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点		
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。 				
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5 	点		
	持続可 能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 				
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点		
(5)			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 				
			a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点		
			③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。				
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点		
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。				
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点		
	i点合計 点満点)	78	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))				

所属名	子育て支援室	事務事業番号	00273						
2 各視点	からの評価の点数で	だは表れない事項(必要に原							
3 事務事	業の現状分析								
	の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部。	として重点的な取組	V	その他			
(2)各視点	2)各視点からの評価結果 クリターのでは、								
(3)現状分	医療費の一部を助成することにより、ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、児童の福祉の増進に成果を上げている。 平成29年3月診療分から所得制限限度額を児童扶養手当一部支給制限額に変更する予定。								
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)									

事務事業名			子ども医療費助成事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美

	丁 勿于未以他	水 又															
(1)	事業開始年度	平成4年度		Ī	改正	计兴	前の児童の原	6. 但 西	/ L	h ráo							
(2)	直近の改正	平成26年度		Į.	内容	孙 士	- 前 07 元 里 07 「	川付女	十リノ派	以光							
(3)	根拠法令等	大阪府市町村	村乳幼児	医療費	助成事	業費	養補助金交付 !	要綱、吲	中田市	子ども	もの医療	費の助成	関する条例	J			
		□ 全部	V	一部(_	上乗せ	、横l	出し等あり)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり)								
(4)	市単独事業区分	一部にチェッ	ックした‡	場合はる	その説明		負担割合は、府補助1/2、市1/2ですが、府の補助が所得制限を設けて就学前児童のため、それを超える部 分は市単費です。										
(5)	総合計画の体系	章 3	健身	で安心	ルして暮	らせ	るまちづくり				節	1			細節	23	
		<u> </u>			区分	分	□ 内部管理	里		建設事	 事業	☑ その	他			<u>:</u>	
		対象 (誰を、何を)			範囲	事	子どもの保護	者									
(6)	目的	目標 (どういう状態にしたいのか) 子どもの医療費を助成し、安心して医療を受けられるように								れるように	する。						
		結果 (どのような効果	きが得られ	ふのか)	子ど	もの	健全な育成と	:福祉 <i>の</i>	増進	を図る) o						
(7)	事業概要	小・中学生に 0円まで、1医 ※小・中学生	療機関	で、月2	日まで	。複	数の医療機関	にかか	いった	場合、	月2、50	0円まで。)一部を助	成する。自	1己負担額	については、1日50	
(8)	H27事業別 予算コード	会計	1	款	3	}	項	2			9	大事業	1	中事業	1	小事業 1	
			平成26年度 項 目 (2014年度) (2015年度)			平成28年度 (2016年度)											
						•	予算(千F	円)	Э	F)算	千円)	予算	(千円)	決算見:	込(千円)	予算(千円)	
			事業費	(A)	1		1,0	23,986			956,718	718 1,175,74			1,103,190	1,138,612	
		人件費		員数	<u>ا</u> ا		2.00		2.00			2.30					
		<i>4</i> /\		(B)	千	円		16,600			15,894		19,210		16,704	16,340	
	事業費と		事業費(·	40,586 63,302			972,612 173,884				1,119,894	1,154,952 205,949	
(9)	財源の内訳			K(U) 国				03,302			173,004	192,092		127,848		203,949	
		内 訳		<u></u> 侍			1	63,282			173,870		192,072		127,848	205,929	
			その	 の他				20			14		20		0	20	
			市負担	(D)			8	77,284			798,728		1,002,867		992,046	949,003	
		<u></u>	地力	方債 ————				0			0		0		0	0	
		訳		の他 				0			0		0		0		
				財源				77,284			798,728		1,002,867		992,046		
		☑ 直接	オ源計(C 	,+U)			1,04	40,586			972,612		1,194,959		1,119,894	1,154,952	
								1									
		_ <i></i>	· == 1.L +	50 ∓ ≥ 1			委託先	2									
	中华士计	□ 委託	又は一部	邻 安託				3									
(10)	実施方法					主	な委託内容										
(10)	(該当するものは全部チェック)		_					1									
		□ 補助金・負担金 交付先					交付先	2									
								3									
		□ その	他				内容										

事業番号 00276

		指標等	指標項目	1		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)			
			助成件数		目標値	(単位	:件)	5	74,960.00	677,826.00	646,447.00			
		指標 内容			実績値	(単位	:件)	5	42,188.00	616,893.00				
	1					達成度(%)			94.3	91.0				
		目標値	過去の実績に基	実績に基づく		と去の実績に基づく		総事業費(重	単位:千円)		1.79	1.82		
1		の積算 方法		単位当たりコスト	一般財源(自	単位:千円)		1.49	1.61					
活動指標			助成金額		目標値	(単位:	千円)	9	73,570.00	1,113,832.00	1,082,687.00			
標		指標 内容			実績値	(単位:	千円)	8	91,047.00	1,049,904.00)			
	2					達成度(%)			91.5	94.3				
		目標値 の積算	過去の実績に基金	その実績に基づく		総事業費(重	単位:千円)		1.09	1.07				
		方法			りコスト	一般財源(皇	単位:千円)		0.91	0.94				
					目標値	(単位	拉 :)		0.00	0.00	0.00			
		指標 内容			実績値	(単位	拉 :)		0.00	0.00				
	1					達成度(%)			0.0	0.0				
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(皇	単位:千円)		0.00	0.00				
2 - 成		方法			りコスト	一般財源(草	単位:千円)		0.00	0.00				
成果指標				目標値		(単位	i i∶)		0.00	0.00	0.00			
標		指標 内容			実績値	(単位	<u>i</u> :)		0.00	0.00				
	2								達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た				0.00	0.00				
		方法			りコスト	一般財源(自	単位:千円)	0.00		0.00				
の3 が3 が出	1	活動 内容						目標						
難な場合	2	成果 内容	小・中学生には所 を助成する。	f得制限を設けて、中学	学校修了前の子	どもに係る医	療費の一部	達成 状況		建全な育成と福祉の 旦の軽減を図ること)増進及び養育者の :ができた。			
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	\	□ <i>§</i>	ጅ止	終期の設定			
(4)総	(4)総合評価		評価の説明	子どもの健全な育り受ける機会の多い。 受ける機会の多い。 ている。今後は、子 必要がある。また、	就学前の子ど f育て支援施策	もに係る所 ^を そのさらなる	得制限を撤 充実のため	'廃し、安)に、小・	心して医療 中学生に	療を受けられる糸 系る所得制限に	経済的な支援となっ			

所属名	子育て給付課			
事務事業番号	00276	事業名 子ども医療費助成事業	事業区分	その他

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
т п	107]兀灬	四丁 四 赤	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			① 没	F.	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J	
				5	 点
(1)	妥当性 (20点)	20	3社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	J	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	J	
			・	5	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	
			① / 1 到 1 1 1 1	Q	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J	
				5	点
(2)	(2) 有効性 18	18	a. 事業の目的と受益者は光生に一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	5	
	\ = - \\\\\\				
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	_	-
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************		<u> </u>
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_	
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(20)11()		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	_	
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 ************************************		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。 		
(4)	公平性 (20点)	18	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。 	 :	
			a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点) 	5	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	:	
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	: :	
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	: :	
(5)	持続可 能性	16	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
, - /	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	:	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	:	
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	00276		
2 各視点	なからの評価の点数で	は表れない事項(必要に	応じて記載)	<u> </u>	
3 事務事	事業の現状分析 				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(1)本事業	の位置付け	主要な政策課題 としての取組		部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点	いらの評価結果		持続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0 効率性	
(3)現状分	↑析	果は適切である。		の経済的な負担が軽減される の所得制限撤廃について検討	る効果をあげており、費用対効 対を進める必要がある。
4 その他	也(国・府の動向など、)	当該事業に関係する特記	已事項)		

事業番号 01075

事務事業名			システム改修事業		
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美

	于加于木VM	N 女															
(1)	事業開始年度	平成16年度			改正	基幹	♀系システ∠	」 再構築	をに	伴う手当	•医療費助	力成システム	の改修				
(2)	直近の改正	平成27年度			内容												
(3)	根拠法令等	なし															
		☑ 全部		一部	(上乗せ	大横	出し等あり))		□ なし	(国∙府制	度もしくは	法令等でī	市が実施す	る義務あ	IJ)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合は	その説	明											
(5)	総合計画の体系	章(3 健儿	康で安	心して暮	事らせ	! !るまちづく!	IJ			節		1	細節		10	
		<u> </u>			X	分	☑ 内部管	管理		──' ── □ 建該	 と事業	□ その1	也		:		
		対象 (誰を、何を)			範	囲等	児童手当・	児童扶	 養=	手当•子。	ども医療費	助成・ひとり	り親家庭医	医療費助成	システム		
(6)	目的	目標 (どういう状態に	こしたいの)か)	児童	重手当	当∙児童扶養	養手当•	子と	も医療を	貴助成・ひん	とり親家庭	医療費助尿	或システム(の改修		
		結果 (どのような効!	里が得られ	h.るのか	、 、 、 児童	重手当	当•児童扶養	§手当·	子と	も医療	貴助成・ひ。	とり親家庭	医療費助尿	或受給者デ	ー タの適	切な管理	
(7)	事業概要 H27事業別	基幹系システ	-ム再構				T :		- ども		助成・ひと 	Ī		I I			
(8)	予算コード	会計	1	款		3	項	2		目	1	大事業	2	中事業	96	小事業	99
			項					年度 F度)			平成2 (2015	7年度 年度)		平成28 (2016 ^会			
							予算(-	千円)		決算	(千円)	予算(-	千円)	決算見込	(千円)	予算(=	千円)
			事業費	(A)	<u> </u>		10,416		16		9,504		42,370				486
		人件費		員数		人	0.10				0.10	+			0.10		0.10
		, na	ļ	類(B)		·円			30		795		836		836		817
	事業費と		事業費		()			11,24			10,299		43,206		21,767		1,303
(9)	財源の内訳		特定財法	<u>源(U)</u> 国				10,41	0		0		0		0		0
		内		<u>'''</u> 府				10,41	_		0		0		0		0
		訳 <u></u>		の他					0		0		0		0		0
			市負担	(D)				83	30		10,299		43,206		21,767		1,303
		<u></u>	地	方債					0		0		0		0		0
		訳		の他					0		0		0		0		0
		<u> </u>		<u></u> 段財源					30		10,299		43,206		21,767		1,303
		□直接	け源計((C+D)				11,24	46		10,299		43,206		21,767		1,303
		口 但按	大心					1	<u></u>	 朱式会社	 :両備シス -	 テムズ					
				40 T -	_		委託先	2									
	中长 十六	☑ 委訊	E又は一	·部委哥	t			3									
(10)	実施方法		_		_	Ė	こな委託内容	容 手	当•	医療費用	カ成システ	ムの改修	-				
(10)	(該当するもの は全部チェック)							1									
		□ 補助	⋔金∙負拮	旦金			交付先	2									
								3	3)								
		□ その	他				内容										

2 評	<u>ш</u> • •	指標等	指標項目			項目	平成26年度 (2014年度)		平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)	(0.00	
	1					達成度(%)		0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)	(0.00	
1) 江		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	1	0.00	
活動指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	
	2					達成度(%)		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	
	1					達成度(%)		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	
2 		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	
成果指標					目標値	(単位:)	(0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)	(0.00	
	2					達成度(%)		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	
の の3 が 困指	1	活動 内容	平成29年度から 費助成システムの	稼働予定の新基幹系シ)改修を行う。	ステムに対応	するために、手当・医療	新基 修を 目標 	幹系システムの構築スク 行う。	アジュールに沿った改
難に な場合 合	2	成果 内容		ムに対応する手当・医療∮ は実施が可能となる。	費助成システム	ムの構築により、各事業		幹系システムの構築スク 実施済。	アジュールに沿った改
		4	・ う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮!	j, [□ 廃止 □	終期の設定
(4)総	今 評		評価の説明	制度改正などのある	場合は手当	・ 医療費助成システ <i>L</i>	_ の改修を行い	、適切に対応を行う必	必要がある。

 所属名
 子育て給付課

 事務事業番号
 01075
 事業名
 システム改修事業
 事業区分
 内部管理

	<u>現点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点					
		ат іш лік	1. (1) 役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。					
			① 没	F.	 点			
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	J				
			と	3	 点			
(1)	妥当性 (20点)	18	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	3				
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点			
			4 スル思報はする頃とである。(3M/) 4 利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	3				
			・	5	 点			
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	3	<i>m</i>			
			① / 1 到 1 1 1 1	2	 点			
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	J				
			と 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3	<u></u>			
(2)	(2) 有効性 16	16	B. 事業の目的と支筆者は概ね一致している。(3点) ③事業は目標どおりに進捗していますか。	J	点			
	(= - /III/							
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点) 	ð	点			
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	_	-			
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点			
			①単位当たりコストは適正ですか。 ************************************	-	<u> </u>			
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点			
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	_				
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点			
	(20 ////)		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。					
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点			
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)					
				5	点 			
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 	 !				
			内部管理		点			
			②サービスの水準は適正ですか。	 :				
(4)	公平性	0	内部管理 		点			
	(20点)		③適正な受益者負担を求めていますか。	 :				
			内部管理		点			
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。	 :				
			内部管理		点			
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	<u> </u>				
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点			
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	······				
(5)	持続可	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点			
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。					
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点			
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	·····				
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点			
	「点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))					

所属名 子育て給付課	事務事業番号 01075							
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて	記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 しとしての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
妥当性 20								
(3)現状分析	手当・医療費助成事業の運用にあた	こり必要な事業である。						
4 その他(国・府の動向など、	当該事業に関係する特記事項)							
	THE TOTAL TO							

事業番号	01292
TAHI	0.202

事務事業名			診断料助成事業(児童扶養手当分)					
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美			

	丁 勿于未以他	<i>x</i> <u>x</u>											
(1)	事業開始年度	平成14年度		改正	対象2	を非理税の	の由詰者の	カみと	し、生活保護を	受給者を除	_		
(2)	直近の改正	平成24年度		内容	\1 \(\)	<u>ር</u>	77 中 日 日 1	7076	し、土石体設力	ᅩᄱᄀᆸᇰᆙᄉ	\ 0		
(3)	根拠法令等	吹田市福祉サ	ービスに係る	诊診断料	助成交	を付要綱							
		☑ 全部	□一部	(上乗せ	せ、横出	はい等あり)		なし (国・府制	削度もしくは	法令等で	市が実施する義務な	59)
(4)	市単独事業区分		ックした場合に	はその説	明								
(5)	総合計画の体系	章 3	健康で安	心して著	事らせる	るまちづく	Ŋ		節		1	細節	33
				Z	分	□ 内部'	 管理		建設事業	☑ その	 他		<u> </u>
		対象 (誰を、何を)		範									
(6)	目 的	目標 (どういう状態に	したいのか)		 童扶養手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進に寄与するとともに、児童の 全な育成を図るため、支給認定時の診断費用を助成する。								
		結果 (どのような効果が得られるのか) ひとり親家庭等の福祉の増進											
(7)	争未帆安 	児童扶養手当金1級を受給 金1級を受給 会計		などは不 					I成する。 	さは、支給記 大事業	恩定時に診	が出が必要になりませる。 中事業	ます。(障害基礎年
(0)	予算コード	Z H1	49	` [<u> </u>	<u>स्</u> र			ハテホ	TI CHO		
			項目				平成2 (2014	6年度 年度)			平 成2 (2015	7年度 年度)	平成28年度 (2016年度)
						予算(-	千円)	決	·算(千円)	予算(千円)	決算見込(千円)	予算(千円)
			事業費(A)				8		5	+	8	12	
		人件費	職員数		<u> </u>	0.00			0.00	0.00			
		6W-	総額(B) 			0			0	0		(
	事業費と		事業費(A+E 	3)			8 n		5			12	
(9)	財源の内訳		国		0				0				
		内 訳					0		0			(
		□/\	その他				0		0	0		(0
			市負担(D)				8		5	8		12	16
		内	地方債				0		0		0		0
		訳	その他				0		0		0		
		<u> </u>	一般財源 				8		5	+	8	12	
		☑ 直接)			0		5	'	0	12	. 10
					Τ		1						
		D #2	豆仁 如手引	-		委託先	2						
	実施方法	□ 委託	又は一部委託	t			3						
(10)					主	な委託内容	容						
(,, 0)	(該当するもの は全部チェック)	_					1						
		┃ □ 補助 ┃	金•負担金			交付先	2						
					1		3						
		□ その	他		内容								

2 評	<u>,, </u>	指標等	<u>r</u> 指標項目]		項目			26年度 1年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
			助成件数		目標値	(単位	立:件)		2.00	2.00	4.00
		指標 内容			実績値	(単位:件)			2.00	6.00	
	1					達成度(%))		100.0	300.0	
		目標値	過去の実績に基づ	づく	単位当た	総事業費(単位:千円)		2.50	2.00	
1		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)			2.50	2.00	
活動指標			児童扶養手当を引	支給した件数 おおおり かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい	目標値	(単位	立:件)		2.00	2.00	4.00
標		指標 内容			実績値	(単位	立:件)		2.00	6.00	
	2				達成度(%))		100.0	300.0		
		目標値	助成件数		単位当た	総事業費(単位:千円)		2.50	2.00	
		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		2.50	2.00	
					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
						達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
2 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単	位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単	位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)			0.0	0.0	
		目標値			単位当た				0.00	0.00	
		の積算 方法			りコスト				0.00 0.00		
の3が歩	1	活動 内容						目標			
困難な場合	2	成果 内容		支給するにあたり、要件 ニ診断書が必要になるこ	(庭等の福祉の増進	を図ることができ					
		4	今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続		□縮小	`	J	堯止 □	終期の設定
(4)総1	4)総合評価		評価の説明	児童扶養手当を受	給するために	 必要な診断 	fであり、非	課税世帯	- の経済的	 負担が軽減され	ている。

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	01292	事業名	診断料助成事業(児童扶養手当分)	事業区分	その他

評価	iの視点	評価点	チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	i	
4 \	妥当性	4.4	b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	点
1)	(20点)	14	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	i	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	i	
			c. 市民ニーズは低下している。又は市民ニーズを把握できていない(1点)	1	点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
<u></u>	有効性	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
2)	(20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
/。、 効率性		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3	点	
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
	効率性	16	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
3)	(20点)	10	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3	点
			②サービスの水準は適正ですか。		
4)	公平性	14	a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5	点
4)	(20点)	14	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			c. 受益者負担を求めておらず、検討する必要がある。(1点)	1	点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5	点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
5)	持続可	1 4	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
(ن	能性 (20点)	14	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3	点
	i点合計 点満点)	76	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)	
3 事務事業の現状分析	
(1)本事業の位置付け 主要な政策課題 □ 部として重点的な取組	☑ その他
(2)各視点からの評価結果 お続可能性 公平性 カター	
高齢者や障がい者などの診断料助成と同様に、低所得者への経済的な支が、児童扶養手当申請分としての助成件数は非常に少ない。	援として実施している事業である
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)	

事務事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當直美			

	于初于未U/W	ル 文																
(1)	事業開始年度	平成27年度		ī	改正	マイナ	トンバー制	引度導	算入に	伴う	手当	•医療費助	成システム	 \改修				
(2)	直近の改正				内容		·											
(3)	根拠法令等	行政手続きに	こおける特	持定の個	固人番号	号を譲	我別するた	-めの	番号	の利	用等	に関する	去律					
		□ 全部		一部(_	 上乗せ、	、横出	出し等あり	1)		V	なし	(国∙府制	消度もしくは	法令等で	市が実施す	- る義務あ	り)	
(4)	市単独事業区分	一部にチェ	ックした	場合はる	その説り	明												
(5)	総合計画の体系	章 3	3 健原	東で安心	いして暮	らせる	るまちづく	(1)				 節		1		細節	23	
					区分	分	☑ 内部	管理			建設		□ その	 他			:	
		対象 (誰を、何を)			範囲	節囲等 児童手当・児童扶養手当・子ども医療費助成・ひとり親家庭医療費助成システム												
(6)	目 的	 目標 (どういう状態に	こしたいの	か)	児童	 !童手当·児童扶養手当·子ども医療費助成·ひとり親家庭医療費助成事業のマイナンバー制度導入												
		結果 (どのような効!)	里が得られ	1 ろのか)	児童	手当	•児童扶	養手当	当∙子	ども国	医療	費助成・ひ	とり親家庭	医療費助用	 式事業の効]率的•円》	ーーーー 滑な実施	
(7)	事業概要 H27事業別	行政手続きにら児童福祉分する。	こおける物	持定の値 いてもマ 	固人番号 アイナン	号を譲 バー [†] 	^{銭別するた} 制度の実 一 項	-めの 施が ⁻	番号	の利 されて E	こしいる	:に関する 注 る。手当・医	去律(平成) 療費助成: 	25年法律	第27号) の おいても改 中事業	施行によ (修を行い <u></u>	り、平成29年 、その対応を 小事業	年度か で可能と
(0)	予算コード	五司		小人			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·						八爭未					
						平成2 2014						7年度 年度)		平成28 ² (2016年				
				予算(千円)	ž	夬算	(千円)	予算(千円)	決算見返	(千円)	予算(千	一円)			
			事業費					0			0		11,664		11,664		1,080	
		人件費	職	職員数 人 総額(B) 千P			0.00		0.00			0.10		0.10		0.10		
		八川貞	総客			円	0		0		901		846		884			
		総	事業費((A+B)			0			0		12,565			12,510		1,964	
(9)	事業費と 財源の内訳	 	特定財派						0	•		,		6,932			720	
	741 <i>m</i> 3(0) 1 1 1 1 1 (内		国			0			0		· -			6,932		720	
		訳		府 の他		0			0					0		0		
			市負担						0	0					4,732		360	
		_		<u>``</u> 方債					0			0		 		0		0
		内 訳	そ(の他					0			0		0		0		0
		<u> </u>	一 般	段財源					0			0		2,258		4,732		360
		貝	才源計(C	C+D)					0			0		11,664		11,664		1,080
		□直接	実施															
								-		株式	会社	上両備シス -	テムズ					
		☑ 委託	と又は一	部委託			委託先	-	2									
	実施方法					<u></u>	 な委託内	∽	③ 壬 业	. 医根	■ ・	 助成システ	ルのみ体					
(10)	(該当するもの				+	エ/	'み女礼内	T	<u>+∃</u>	卢尔	人具」	が ルスノヘ「	ムの以下					
	は全部チェック)	┃ ┃ □ 補助	」金∙負担	旦金			交付先		2									
			/ -</td <td></td> <td></td> <td></td> <td> 1 - 7 - 0</td> <td>-</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>				1 - 7 - 0	-	3									
		□ その他					内容											

2 評	<u> </u>	1指標等	指標項目	1		項目	平成26年原 (2014年度	-	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
_		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
1 		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
活動指標					目標値	目標値 (単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	1					達成度(%)		0.0	0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)	0.00		0.00	
2 		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00	
成果指標					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00	
	2					達成度(%)	0.0		0.0	
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00	
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)	0.00		0.00	
(3) が 困指	1	活動 内容	平成29年度から 費助成システム <i>0</i>		が一制度に対応 す	するために、手当・医療	国か う。 目標	で定めた	-スケジュール内に	システム改修を行
四難な場合 場合	2	成果 内容		を対応のシステム構築(となり、効率的、円滑な		間サーバーを経由して情 能となる。	国が 予定 達成 状況		こスケジュール内に	システム改修を実施
	•	يه	- 今後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	□ 継続	□縮小		☑ /	秦	終期の設定
(4)総·	(4)総合評価		評価の説明	マイナンバー制度の医療費助成システ.		っては、国の中間サーク	バーを経由し	て情報	るの取得を行う必 の取得を行う必	要がある。手当・

所属名	子育て給付課				
事務事業番号	01504	事業名	マイナンバー制度導入システム改修事業	事業区分	内部管理

=示 /⊅	の視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
ā 平 1Ⅲ	1の代点	出Ш出			
			①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 	_	
			a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5	点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
(1)	妥当性 (20点)	18	a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5	点
	(20点)		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 		
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	点
			④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	点
			①活動指標·有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 		
			b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3	点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。		
(2)	有効性	18	a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	点
(2)	(20点)	10	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	点
			④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。	5 点	
(3)	効率性	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)		点
(3)	(20点)	20	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。		
			内部管理		点
			②サービスの水準は適正ですか。		
(4)	公平性	0	内部管理		点
(4)	(20点)	0	③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		·····································
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1	点
			②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
<i>(</i> – <i>)</i>	持続可		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3	点
(5)	能性 (20点)	12	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
			b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	 5点合計		← ※自動計算します。		
	点満点)	85	(内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名 子育て給付課	事務事業番号 01504							
2 各視点からの評価の点数	では表れない事項(必要に応じて	 C記載)						
3 事務事業の現状分析								
(1)本事業の位置付け	主要な政策課題 □ としての取組	□ 部として重点的な取組	☑ その他					
(2)各視点からの評価結果	持続可能	安当性 10 5 10 5 分率性						
(3)現状分析 マイナンバー制度の実施に向けて、準備中である。								
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)								
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項) 児童福祉分野については、平成29年7月からマイナンバー制度実施予定。								

事務事業名	システム保守事業							
担当部名	児童部	室課名	子育て給付課	室課長名	當 直美			

	争務争耒の物	N Y													
(1)		平成16年原	· 生			童手当·児童扶養	養手当	・子ども	医療費助成	・ひとり親家庭医	寮費 郥	カ成システムの保守	· 宁管理		
(2)															
(3)	根拠法令等	なし													
					黄出し等あり)		□ なし (国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり) 「節」 「 細節 23 □ 建設事業 □ その他 手当・子ども医療費助成・ひとり親家庭医療費助成システム とも医療費助成・ひとり親家庭医療費助成業務の円滑な保守・管理 「とも医療費助成・ひとり親家庭医療費助成業務の円滑な保守・管理 「本書 「大事業 中事業 小事業 中産27年度 (2015年度) 「大事業 中事業 「中事業 中度28年度 (2016年度) 「大事業 中の大力を選用を行う。 「おります」 「大事業 中の大力を選別を発表した。」 「大事業 中の大力を選別を表現した。」 「大事業 中の大力を選別を表現した。」 「大事業 中の大力を選別を表現した。」 「大事業 中の大力を関係を使います。」 「大事業 中の大力を関係を表現した。」 「大事業 中の大力を関係を表現した。」 「大事業 中の大力を関係を表現した。」 「大事業 中の大力を表現した。」 「大事業 「大力を表現した。」								
(4)	市単独事業区分		ェックし	た場合はそ	その説明	説明									
(5)	総合計画の体系	章	3		して暮ら	せるまちづくり			節	1		細節	23		
		•			区分	☑ 内部管理	E	□ 建		□ その他					
(0)			·)		範囲等	児童手当・児童	童扶養	手当•子	ども医療費	助成・ひとり親家	连医療	寮費助成システム	表あり) 23 A R守・管理 小事業 平成28年度 (2016年度)) 予算(千円) 29 2,15 10 0.10 346 886 375 3,03 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
(6)	目的	目標(どういう状態	乳こしたし	ハのか)	児童手	当•児童扶養手	当•子	ども医療	費助成・ひと	とり親家庭医療費	助成訓	業務の円滑な保守	· 管理		
		結果 (どのようなタ	カ果が得	られるのか)	同上										
(7)	争未概安	児童手当・児童扶養手当・子ども医療費助成・ひとり親家庭医療費助成事業について、大量の受給者データをシステムにより管理している システムの安定稼働を行うため、システムの保守を電算システム会社に委託し、システムの円滑な運用を行う。									ヒり管理している。 ·				
(8)	H27事業別 予算コード	会計		款		項		目		大事業	[中事業	小事業		
			項	〔目	かを行うため、システムの保守を電算システム会社に委託し、システムの円滑な運用を行う。										
						予算(千円])	———— 決算	(千円)	予算(千円)	;	決算見込(千円)	——————————— 予算(千円)		
			事業	費(A)			1,729		1,729	1,7	29	1,729	### 23 ### 23 #########################		
		人件書		職員数	人		0.10		0.10	0	10	0.10			
		NII X	ŕ	総額(B)	千円	856			815	(01	846	##節 23 おする義務あり 23 成システム 174 172		
		i					2,585		2,544	2,6	30	2,575	3,037		
(9)	事業費と 財源の内訳			財源(C)	空安心して暮らせるまちづくり										
	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	内		_			0		0		は法令等で市が実施する義務あり) 1 細節 23 20他 2り親家庭医療費助成システム 医療費助成業務の円滑な保守・管理 中事業 小事業				
				国					0		0	0	0		
		訳		府			0		0 0		0	0	0		
		訳 <u></u>		府 その他			0		0 0 0	1,7	0 0 0 0	費助成システム 務の円滑な保守・管理 ・タをシステムにより管理している。 行う。 事業 小事業 平成28年度 (2016年度) 算見込(千円) 予算(千円) 1,729 2,153 0.10 0.10 846 884 2,575 3,033 0 0 0 0 1,729 2,153 0 0 1,729 2,153			
			市負	府 その他 (担(D)			0 0 1,729		0 0 0 0 1,729	1,7	0 0 0 0	0 0 0 1,729	円滑な保守・管理 システムにより管理している。 小事業 平成28年度(2016年度) 込(千円) 予算(千円) 1,729 2,153 0.10 0.10 846 884 2,575 3,037 0 0 0 0 1,729 2,153 0 0 1,729 2,153 0 0 1,729 2,153 0 0 1,729 2,153 0 0 1,729 2,153		
		自提			0 0 0 2,153 0										
		(内訳	市負	府 その他 担(D) 地方債 その他			0 0 1,729 0		0 0 0 0 1,729 0		0 0 0 0 29 0	0 0 0 1,729 0	0 0 0 2,153 0		
		(内訳	市負	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源			0 0 1,729 0 0 1,729		0 0 0 1,729 0 0 1,729	1,7	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	0 0 2,153 0 0 2,153		
		(内訳)	市負	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)			0 0 1,729 0 0 1,729 1,729		0 0 0 1,729 0 0 1,729 1,729	1,7	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	平成28年度 (2016年度) 予算(千円) 9 2,15 0 0.1 6 88 5 3,03 0 0 0 0 0 2,15 0 0 9 2,15		
		(内訳)	市負	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)			0 0 1,729 0 0 1,729 1,729	株式会社	0 0 0 1,729 0 0 1,729 1,729	1,7	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	.10 0.10 .846 884 .575 3,037 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 729 2,153 0 0 729 2,153		
		(内訳) □ 直	市負 財源計 接実施	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)			0 0 1,729 0 0 1,729 1,729	株式会社	0 0 0 1,729 0 0 1,729 1,729	1,7	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	0 0 2,153 0 0 2,153		
	実施方法	(内訳) □ 直	市負 財源計 接実施	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)		委託先	0 0 1,729 0 1,729 1,729		0 0 0 1,729 0 1,729 1,729 土両備シスラ	1,7 1,7 -ムズ	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	0 0 2,153 0 0 2,153		
(10)	(該当するもの	(内訳) □ 直	市負 財源計 接実施	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)		委託先	0 0 1,729 0 1,729 1,729 1,729 ① 2 ② 3 ③ 手当・		0 0 0 1,729 0 1,729 1,729 土両備シスラ	1,7 1,7 -ムズ	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	0 0 2,153 0 0 2,153		
(10)		(内訳) 直 重	市負 財源計 接実施 託又は	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)		委託先主な委託内容	0 0 1,729 0 1,729 1,729 1,729 ① ② ② ③ ③ ●		0 0 0 1,729 0 1,729 1,729 土両備シスラ	1,7 1,7 -ムズ	0 0 0 0 29 0 0	## (お実施する義務あり) ## (0 0 2,153 0 0 2,153		
(10)	(該当するもの	(内訳) 直 重	市負 財源計 接実施 託又は	府 その他 担(D) 地方債 その他 一般財源 †(C+D)		委託先主な委託内容	0 0 1,729 0 1,729 1,729 (1) 2 3 手当・		0 0 0 1,729 0 1,729 1,729 土両備シスラ	1,7 1,7 -ムズ	0 0 0 0 29 0 0	0 0 0 1,729 0 0 1,729	0 0 2,153 0 0 2,153		

事業番号 01506

2 評	<u> </u>	指標等	指標項目			項目		26年度 4年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
_		目標値			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
1)活動指標		の積算 方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
					目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
		指標 内容			実績値	(単位:)		0.00			
	1					達成度(%)		0.0	0.0		
		目標値 の積算			単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
2) 成		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
成果指標		指標 内容 目標値 の積算			目標値	(単位:)		0.00	0.00	0.00	
標					実績値	(単位:)		0.00	0.00		
	2					達成度(%)		0.0	0.0		
					単位当た	総事業費(単位:千円)		0.00	0.00		
		方法			りコスト	一般財源(単位:千円)		0.00	0.00		
の3 がシ 困指	1	活動 内容	委託による手当・医療	・貨助成システムの1	保守官埋。		目標	安定したシ	·ステムの稼働を実	児する。	
 難な場合 ので示す	2	成果 内容	手当•医療費助成事業	美を効率的、円滑に	実施する。		達成状況	定したシス	手当・医療費助成システムの保守管理により、 定したシステムの稼働を実現し、手当・医療費 成事業を効率的、円滑に実施してい		
			う後の方向性 (実施計画)	□ 拡充	☑ 継続	□縮ノ]\		廃止 □ :	終期の設定	
(4)総	(4)総合評価			算システムで大量 ハ引き続き安定運		ータの管理を行うため いく必要がある。	に不可欠	である。←	後のマイナンバ	一制度の導入に	

 所属名
 子育て給付課

 事務事業番号
 01506
 事業名
 システム保守事業
 事業区分
 内部管理

	<u>見点からの</u> iの視点	評価点	※内部管理事務は「公平性」の評価不要 チェック項目 【プルダウンメニューで選択してください。】 ※各設問5点満点		
1112	100 100 1111	и трити	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
			・	5	 点
			②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	<u> </u>	<i></i>
	—: .i.e lei		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3	 点
(1)	妥当性 (20点)	16	③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	<u> </u>	
			a. 実施意義は今も増している。(5点)	5	 点
			4利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
			b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3	 点
			①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		/iii
			している。 している している している している している。 している。	3	 点
			②事業の目的と受益者が一致していますか。	<u> </u>	
			a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5	 点
(2)	有効性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	<u> </u>	
			a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5	
				5	点
		a. 目標以上又は目	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 	E	
			a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5	点
			①単位当たりコストは適正ですか。 - 単位光はリコストは第三でする (5-5)		
			a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5	点
			②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
(3)	効率性 (20点)	20	a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5	点
	(= - /III /		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
			a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	J	点
			④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 		 . L E
			a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	Э	点
			①サービスの対象範囲は適正ですか。 小部管理		
					点
			②サービスの水準は適正ですか。 中が無理		
(4)	公平性 (20点)	0	内部管理 		点
	(20)11()		③適正な受益者負担を求めていますか。		
			内部管理		点
			④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
			内部管理		点
			①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
			a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5	点
	++ <i>0</i> +		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
(5)	持続可 能性	20	a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5	点
	(20点)		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	<u> </u>	
			a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5	点
			④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
			a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5	点
	i点合計 点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	子育て給付課	事務事業番号	01506				
2 各視点	なからの評価の点数で	だは表れない事項(必要に)	応じて記載)				
3 事務事	事業の現状分析						
	め位置付け	主要な政策課題		部として重点的な取組	V	その他	
(2)各視点	からの評価結果	†*	寺続可能性公平性	妥当性 20 15 10 5 0			
(3)現状分	补析	手当・医療費助成事業の運用	引にあたり必要な₹	事業である。			
4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)							
	フィー (1.1 A / M)に1.ひて (T'A/				